

久賀地区の小・中・高で合同訓練



▶ 駆け足で高台まで避難。避難経路やいざという時の行動を確認しました。

12月8日、久賀地区において、久賀小、久賀中、周防大島高校の3校合同による避難訓練が行われ、210名が参加しました。

3校による合同訓練は、今回が初めてで、同じ地域で学ぶ者同士が連携・協力し、避難について正しく理解し行動できるようにと実施されました。

訓練は震度7を想定し実施され、大津波警報の発令を想定した訓練では、発生時の安全確保から学校単位の一次避難、続いて合同で高台へ避難するなど、すべての児童生徒が真剣に取り組んでいました。

マウンテンマウスが 山口ふるさと大使に

安下庄在住の兄妹ユニットのミュージシャン「マウンテンマウス」(兄・中谷昌史さん、妹・愛美さん)がこのたび山口ふるさと大使に委嘱され、12月25日、県庁において村岡嗣政知事から委嘱状が手渡されました。

これは、山口県が県の魅力を発信してもらおうと、県ゆかりの著名な人に委嘱しているもので、本町からはサッカーの岩政大樹選手に続いて2組目。

マウンテンマウスは、県内外で活動を展開し、町の『ちよび塩ソング』をはじめ、『みかん鍋の歌』など地域の応援ソングを数多く制作。今後の活躍に期待が寄せられます。



▶ 委嘱状交付式後に村岡知事(写真中央)に曲を披露するマウンテンマウスのお二人

地域おこし協力隊
三浦宏之

「お役に立てれば、幸いです。」 35

～最終回～

定住促進協議会日良居分室

☎0820(73)0234

今月をもちまして周防大島町地域おこし協力隊3年間の任期を終了いたします。お世話になりました周防大島のみなさんありがとうございました。そして、これからもよろしく願います。

今後も周防大島に居を構え、これまでお借りしてきた三浦の田畑を中心に農業を営んでいきます。そして、もうひとつ、エフエム山口で番組制作の仕事に携わることになりました。半農半漁に代表される半農半Xみたいな言い方をすると「半農半ラジオ」ということになります。東京での番組制作の経験をベースに、地域おこし協力隊の活動で学ばせていただいた地域おこしの視点、中山間地域に暮らす人の視点、第一次産業従事者の視点を活かした番組づくりで山口県をもっと楽しく、もっと元気にしたいと思っています。週に一回だけでのラジオのお仕事ですが、きっと楽しい放送になっていると思いますので、お時間のあるときに聴いてみてください。

そして、毎月一回一時間の海岸清掃「島くらす海そうじ」は、新しい地域おこし協力隊の山崎千寿さんが引き継いでくれることになりました。これからは参加者のひとりとして周防大島の海を綺麗にする活動を続けていきますので、今後ともよろしく願います。

